

ほくとしんきん中小企業景況レポート

(第 85 回)

令和 5 年 10~12 月期実績／令和 6 年 1~3 月期見通し

特別調査「2024 年（令和 6 年）の経営見通し」

- 調査時点：令和 5 年 12 月上旬
- 調査方法：原則として当金庫職員による聞き取り調査
- 地区区分：丹後地区（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）、舞鶴地区（舞鶴市）、
福知山・綾部地区（福知山市、綾部市、京丹波町）
- 依頼数：570 先
- 回答数：539 先（回答率 94.6%）
- 分析方法：各質問項目について、「増加（良い）」－「減少（悪い）」の構成比の差。
業況判断 D. I. (Diffusion Index) に基づく分析。
- 地区別・業種別回答数

業種	丹後地区	舞鶴地区	福知山・綾部地区	全地区
製造業	58	27	41	126
卸売業	15	15	24	54
小売業	45	30	54	129
サービス業	41	32	31	104
建設業	28	27	46	101
不動産業	6	9	10	25
合計	193	140	206	539

令和 6 年 1 月

京都北都信用金庫

経営企画部 経営企画課

1. 概要

■ 京都府北部の業況判断 D. I. の推移（業種別・地区別）

調査時期	R4. 12	R5. 3	6	9	12	前期比	来期予想
全地区（京都府北部）	△ 20.1	△ 32.1	△ 27.2	△ 26.1	△ 19.1	7.0	△ 28.3
製造業	△ 20.6	△ 28.6	△ 26.2	△ 26.9	△ 22.2	4.7	△ 26.2
卸売業	△ 23.2	△ 45.6	△ 32.1	△ 34.5	△ 24.1	10.4	△ 42.6
小売業	△ 35.1	△ 46.6	△ 39.4	△ 32.8	△ 31.0	1.8	△ 41.1
サービス業	△ 9.5	△ 34.9	△ 21.0	△ 19.2	△ 6.7	12.5	△ 26.7
建設業	△ 16.7	△ 16.8	△ 24.0	△ 22.6	△ 13.9	8.7	△ 18.8
不動産業	7.4	3.7	4.0	△ 11.5	△ 4.0	7.5	12.0
丹後地区	△ 16.4	△ 36.0	△ 19.7	△ 19.6	△ 16.1	3.5	△ 32.6
舞鶴地区	△ 27.8	△ 33.1	△ 31.9	△ 31.0	△ 21.4	9.6	△ 28.6
福知山・綾部地区	△ 18.4	△ 27.6	△ 31.1	△ 28.9	△ 20.4	8.5	△ 24.2
日銀短観(全国)	6.0	5.0	8.0	10.0	13.0	3.0	8.0
日銀短観(京滋)	7.0	7.0	9.0	5.0	10.0	5.0	5.0
信金中金(全国)	△ 10.8	△ 13.9	△ 7.4	△ 7.0	△ 3.3	3.7	△ 8.0

- 京都府北部の今期（令和5年12月期）の業況判断 D. I. は、前期比 7.0 ポイント上昇の△19.1 となりました。
- 業種別では、全ての業種が改善し、なかでもサービス業は同 12.5 ポイント上昇の△6.7 となりました。
- 地区別では、全地区が改善し、なかでも舞鶴地区は同 9.6 ポイント上昇の△21.4 となりました。
- 信金中央金庫（全国）の業況判断 D. I. は、同 3.7 ポイント上昇の△3.3 となり、当金庫調査の業況判断 D. I. を 15.8 ポイント上回りました。
- 京都府北部の来期（令和6年3月期）の予想業況判断 D. I. は、今期実績比 9.2 ポイント低下の△28.3 と悪化する見通しです。

■ 丹後地区の業況判断 D. I. の推移（業種別）

調査時期	R4. 12	R5. 3	6	9	12	前期比	来期予想
丹後地区	△ 16.4	△ 36.0	△ 19.7	△ 19.6	△ 16.1	3.5	△ 32.6
製造業	△ 19.1	△ 24.6	△ 11.5	△ 19.4	△ 22.4	△ 3.0	△ 39.7
卸売業	△ 31.3	△ 31.3	△ 37.5	△ 13.3	△ 20.0	△ 6.7	△ 40.0
小売業	△ 26.1	△ 51.1	△ 29.8	△ 19.1	△ 11.1	8.0	△ 33.3
サービス業	2.4	△ 26.8	△ 12.2	△ 9.8	0.0	9.8	△ 22.0
建設業	△ 17.9	△ 42.9	△ 18.5	△ 32.1	△ 32.1	0.0	△ 39.3
不動産業	0.0	△ 71.4	△ 33.3	△ 50.0	△ 16.7	33.3	16.7

- 丹後地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 3.5 ポイント上昇の△16.1 となりました。
- 業種別では、小売業、サービス業、不動産業が改善し、なかでも不動産業は同33.3ポイント上昇の△16.7となりました。

■ 舞鶴地区の業況判断D. I. の推移（業種別）

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
舞鶴地区	△ 27.8	△ 33.1	△ 31.9	△ 31.0	△ 21.4	9.6	△ 28.6
製造業	△ 39.3	△ 42.9	△ 35.7	△ 48.2	△ 29.6	18.6	△ 22.2
卸売業	△ 43.8	△ 56.3	△ 43.8	△ 73.3	△ 26.7	46.6	△ 46.7
小売業	△ 38.7	△ 41.9	△ 50.0	△ 36.7	△ 46.7	△ 10.0	△ 43.3
サービス業	△ 22.6	△ 37.5	△ 28.1	△ 21.9	△ 9.4	12.5	△ 43.8
建設業	△ 10.7	△ 17.9	△ 21.4	△ 3.6	7.4	11.0	3.7
不動産業	0.0	30.0	10.0	△ 10.0	△ 33.3	△ 23.3	△ 11.1

- 舞鶴地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 9.6 ポイント上昇の△21.4 となりました。
- 業種別では、製造業、卸売業、サービス業、建設業が改善し、なかでも卸売業は同 46.6 ポイント上昇の△26.7 となりました。

■ 福知山・綾部地区の業況判断D. I. の推移（業種別）

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
福知山・綾部地区	△ 18.4	△ 27.6	△ 31.1	△ 28.9	△ 20.4	8.5	△ 24.2
製造業	△ 11.1	△ 25.0	△ 41.5	△ 24.4	△ 17.1	7.3	△ 9.8
卸売業	△ 4.2	△ 48.0	△ 20.8	△ 24.0	△ 25.0	△ 1.0	△ 41.7
小売業	△ 40.7	△ 45.3	△ 41.8	△ 43.1	△ 38.9	4.2	△ 46.3
サービス業	△ 12.1	△ 42.4	△ 25.0	△ 29.0	△ 12.9	16.1	△ 15.6
建設業	△ 19.6	0.0	△ 28.9	△ 28.3	△ 15.2	13.1	△ 19.6
不動産業	20.0	30.0	22.2	10.0	30.0	20.0	30.0

- 福知山・綾部地区の今期の業況判断D. I. は、前期比 8.5 ポイント上昇の△20.4 となりました。
- 業種別では、製造業、小売業、サービス業、建設業、不動産業が改善し、なかでも不動産業は同 20.0 ポイント上昇の 30.0 となりました。

2. 京都府北部の業種別景況

① 全業種

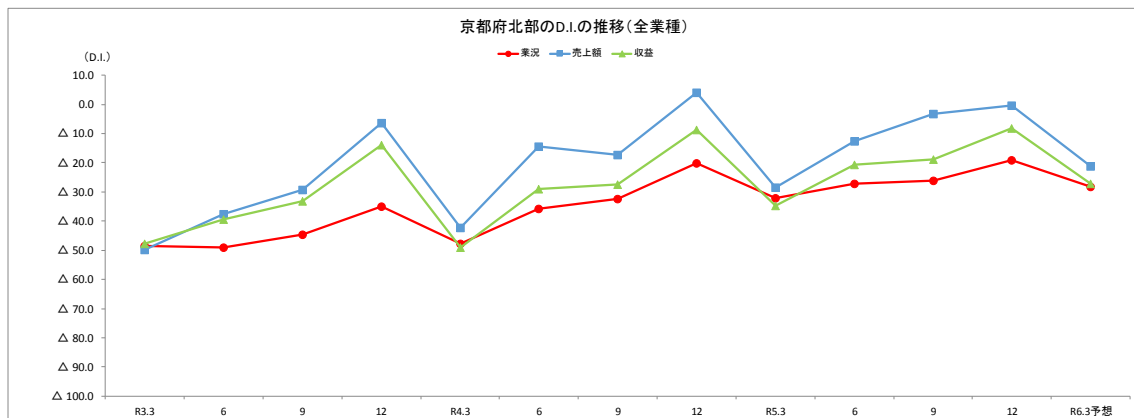
■ 全業種のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 20.1	△ 32.1	△ 27.2	△ 26.1	△ 19.1	7.0	△ 28.3
売上額	4.1	△ 28.6	△ 12.6	△ 3.3	△ 0.3	3.0	△ 21.3
収益	△ 8.6	△ 34.8	△ 20.8	△ 18.8	△ 8.1	10.7	△ 27.1
販売・請負価格	31.8	22.3	22.6	25.6	28.7	3.1	15.4
仕入・材料価格	71.7	69.1	59.3	59.0	54.3	△ 4.7	41.2
在庫	2.9	5.8	2.3	0.5	2.1	1.6	△ 0.6
資金繰り	△ 15.6	△ 22.6	△ 17.2	△ 19.0	△ 16.6	2.4	△ 19.4
前年同期比売上額	1.8	△ 6.5	△ 4.2	△ 3.9	△ 10.0	△ 6.1	-
前年同期比収益	△ 15.3	△ 27.3	△ 16.5	△ 18.8	△ 19.7	△ 0.9	-
残業時間	4.3	△ 2.7	△ 10.9	△ 6.9	△ 0.9	6.0	△ 3.0
人手	△ 33.6	△ 31.8	△ 29.1	△ 30.2	△ 34.1	△ 3.9	△ 30.9
借入実施割合 (%)	19.1	15.7	17.4	19.0	20.5	1.5	19.9

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△8.3、最低値：平成21年6月期の△68.3

- 京都府北部の業況判断D.I.は、前期比7.0ポイント上昇の△19.1となりました。
- 売上額判断D.I.は、同3.0ポイント上昇の△0.3となりました。
- 収益判断D.I.は、同10.7ポイント上昇の△8.1となりました。
- 来期（令和6年3月期）の予想業況判断D.I.は、今期実績比9.2ポイント低下の△28.3と悪化する見通しです。



■ 全業種：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	45.3 (①44.4)	経費の節減	46.2 (①49.4)
人手不足	32.3 (③29.9)	人材の確保	35.3 (②33.0)
原材料高	31.4 (②31.4)	販路の拡張	32.1 (③32.3)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

② 製造業

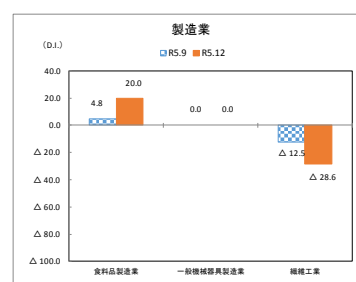
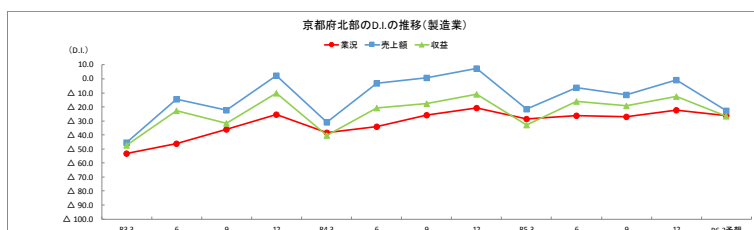
■ 製造業のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 20.6	△ 28.6	△ 26.2	△ 26.9	△ 22.2	4.7	△ 26.2
売上額	7.4	△ 21.7	△ 6.1	△ 11.5	△ 0.8	10.7	△ 22.7
受注残	2.2	△ 17.3	△ 8.5	△ 13.9	△ 13.3	0.6	△ 22.6
収益	△ 11.0	△ 32.9	△ 16.0	△ 19.1	△ 12.5	6.6	△ 26.6
販売価格	34.8	25.4	23.9	15.5	20.4	4.9	9.5
原材料価格	72.6	69.2	57.1	46.8	45.6	△ 1.2	34.6
原材料在庫	12.7	9.0	3.1	2.3	3.9	1.6	△ 0.8
資金繰り	△ 12.5	△ 23.9	△ 16.9	△ 15.4	△ 14.1	1.3	△ 21.3
前年同期比売上額	6.7	1.5	6.9	△ 3.1	△ 5.5	△ 2.4	-
前年同期比収益	△ 16.3	△ 29.3	△ 8.4	△ 21.5	△ 17.3	4.2	-
残業時間	△ 0.7	△ 5.2	△ 14.0	△ 13.2	△ 6.3	6.9	△ 6.3
人手	△ 22.8	△ 26.9	△ 16.2	△ 17.6	△ 21.4	△ 3.8	△ 21.4
借入実施割合 (%)	11.1	9.7	15.4	13.0	13.3	0.3	13.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△2.2、最低値：令和2年6月期の△79.0

- 製造業の今期の業況判断D.I.は、前期比4.7ポイント上昇の△22.2となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「食料品」が同15.2ポイントの上昇、「一般機械器具」が同横ばい、「繊維工業」が同16.1ポイントの低下となりました。
- 売上額判断D.I.は、同10.7ポイント上昇の△0.8となりました。
- 収益判断D.I.は、同6.6ポイント上昇の△12.5となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比4.0ポイント低下の△26.2とやや悪化する見通しです。



■ 製造業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
原材料高	50.0 (①53.8)	経費の節減	46.0 (①47.7)
売上の停滞・減少	46.0 (②38.5)	販路の拡張	45.2 (②42.3)
人手不足	25.4 (③26.2)	人材の確保	31.7 (③33.1)
利幅の縮小	25.4 (⑤19.2)	—	—

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

③ 卸売業

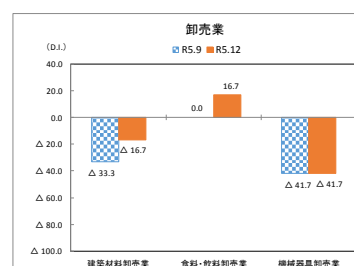
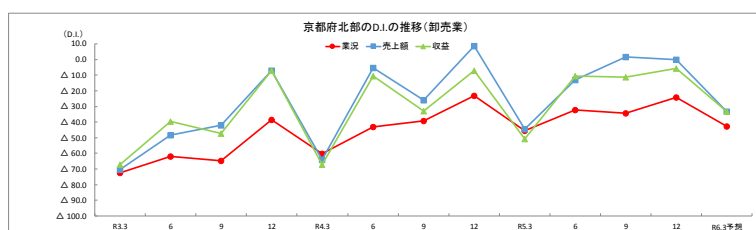
■ 卸売業のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 23.2	△ 45.6	△ 32.1	△ 34.5	△ 24.1	10.4	△ 42.6
売上額	8.8	△ 44.6	△ 12.9	1.8	0.1	△ 1.7	△ 33.3
収益	△ 7.0	△ 50.8	△ 10.7	△ 11.1	△ 5.5	5.6	△ 33.3
販売価格	61.4	47.4	50.0	40.7	37.0	△ 3.7	22.2
仕入価格	86.0	65.0	60.7	55.6	42.6	△ 13.0	27.8
在庫	17.9	31.6	17.9	29.6	24.1	△ 5.5	16.7
資金繰り	△ 26.3	△ 24.6	△ 16.1	△ 20.4	△ 25.9	△ 5.5	△ 22.2
前年同期比売上額	8.8	△ 3.5	△ 12.5	△ 9.1	△ 7.4	1.7	-
前年同期比収益	△ 7.0	△ 28.1	△ 21.4	△ 10.9	△ 22.2	△ 11.3	-
前年同期比販売価格	70.2	66.7	62.5	51.9	61.1	9.2	-
残業時間	19.3	△ 3.6	△ 7.4	△ 5.8	7.5	13.3	△ 5.7
人手	△ 28.1	△ 23.2	△ 30.9	△ 14.8	△ 35.2	△ 20.4	△ 22.2
借入実施割合 (%)	17.5	14.0	19.6	22.2	22.2	0.0	16.7

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成26年12月期の△10.9、最低値：令和2年6月期の△81.0

- 卸売業の今期の業況判断D.I.は、前期比10.4ポイント上昇の△24.1となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「建築材料」が同16.6ポイントの上昇、「食料・飲料」が同16.7ポイントの上昇、「機械器具」が同横ばいとなりました。
- 売上額判断D.I.は、同1.7ポイント低下の0.1となりました。
- 収益判断D.I.は、同5.6ポイント上昇の△5.5となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比18.5ポイント低下の△42.6と悪化する見通しです。



■ 卸売業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	48.1 (①52.7)	販路の拡張	53.7 (①65.5)
同業者間の競争の激化	31.5 (②27.3)	経費の節減	53.7 (②49.1)
人手不足	27.8 (③25.5)	情報力の強化	37.0 (③40.0)
—	—	人材の確保	37.0 (④29.1)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

④ 小売業

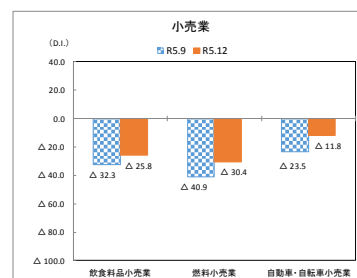
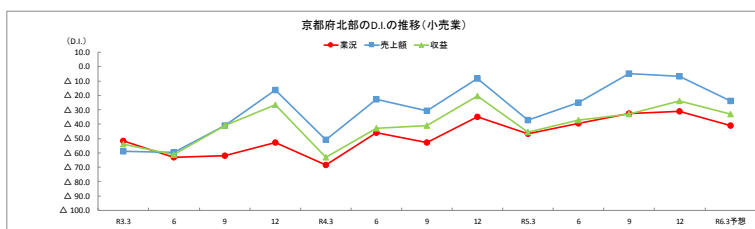
■ 小売業のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 35.1	△ 46.6	△ 39.4	△ 32.8	△ 31.0	1.8	△ 41.1
売上額	△ 8.4	△ 37.1	△ 25.1	△ 4.7	△ 6.9	△ 2.2	△ 23.9
収益	△ 20.5	△ 45.5	△ 37.1	△ 33.1	△ 23.9	9.2	△ 33.1
販売価格	40.2	38.6	25.0	42.5	49.2	6.7	35.4
仕入価格	66.8	70.0	58.9	76.6	63.7	△ 12.9	48.4
在庫	△ 6.8	1.5	△ 1.5	△ 4.7	△ 3.8	0.9	△ 4.6
資金繰り	△ 25.8	△ 32.3	△ 31.1	△ 29.9	△ 27.7	2.2	△ 27.7
前年同期比売上額	△ 2.3	△ 19.5	△ 9.9	0.0	△ 16.2	△ 16.2	-
前年同期比収益	△ 26.5	△ 36.8	△ 25.2	△ 25.8	△ 33.1	△ 7.3	-
前年同期比販売価格	48.5	54.1	45.0	63.8	55.4	△ 8.4	-
残業時間	3.1	△ 7.6	△ 9.9	0.8	2.3	1.5	△ 0.8
人手	△ 29.2	△ 24.4	△ 29.5	△ 27.2	△ 27.1	0.1	△ 27.1
借入実施割合 (%)	19.7	13.7	13.0	14.5	18.6	4.1	14.0

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和元年9月期の△26.1、最低値：平成21年3月期の△78.4

- 小売業の今期の業況判断D.I.は、前期比1.8ポイント上昇の△31.0となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「飲食料品」が同6.5ポイントの上昇、「燃料」が同10.5ポイントの上昇、「自動車・自転車」が同11.7ポイントの上昇となりました。
- 売上額判断D.I.は、同2.2ポイント低下の△6.9となりました。
- 収益判断D.I.は、同9.2ポイント上昇の△23.9となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比10.1ポイント低下の△41.1と悪化する見通しです。



■ 小売業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	58.9 (①54.7)	経費の節減	55.0 (①60.2)
値上げ要請	27.1 (③26.6)	品揃えの改善	32.6 (②28.1)
利幅の縮小	25.6 (②34.4)	仕入先の開拓・選別	20.2 (⑥13.3)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑤ サービス業

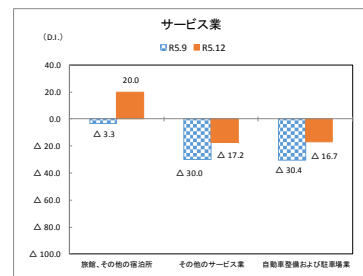
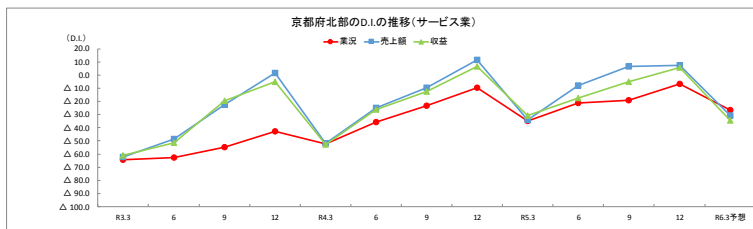
■ サービス業のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 9.5	△ 34.9	△ 21.0	△ 19.2	△ 6.7	12.5	△ 26.7
売上額	11.5	△ 34.2	△ 7.7	6.8	7.7	0.9	△ 30.8
収益	6.8	△ 30.5	△ 17.3	△ 4.8	5.8	10.6	△ 34.6
料金価格	33.7	15.2	18.4	25.5	27.2	1.7	8.7
材料価格	71.5	70.9	61.6	65.5	62.8	△ 2.7	43.1
資金繰り	△ 8.7	△ 20.0	△ 15.4	△ 14.7	△ 9.6	5.1	△ 17.3
前年同期比売上額	1.0	4.8	4.9	2.9	△ 3.9	△ 6.8	-
前年同期比収益	△ 8.7	△ 16.2	△ 8.7	△ 8.9	△ 7.8	1.1	-
残業時間	6.7	2.8	1.0	0.0	4.9	4.9	△ 7.8
人手	△ 45.7	△ 42.5	△ 35.6	△ 42.3	△ 49.0	△ 6.7	△ 39.4
借入実施割合 (%)	21.2	14.3	11.8	16.3	21.2	4.9	20.4

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成31年3月期の△3.9、最低値：令和2年6月期の△81.6

- ・ サービス業の今期の業況判断D.I.は、前期比12.5ポイント上昇の△6.7となりました。
- ・ 業種分類別（回答数上位3業種）では、「旅館、その他の宿泊所」が同23.3ポイントの上昇、「その他のサービス業」が同12.8ポイントの上昇、「自動車整備および駐車場業」が同13.7ポイントの上昇となりました。
- ・ 売上額判断D.I.は、同0.9ポイント上昇の7.7となりました。
- ・ 収益判断D.I.は、同10.6ポイント上昇の5.8となりました。
- ・ 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比20.0ポイント低下の△26.7となる見通しです。



■ サービス業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
人手不足	49.0 (①45.2)	人材の確保	49.0 (②44.2)
材料価格の上昇	40.4 (③35.6)	経費の節減	45.2 (①51.9)
売上の停滞・減少	39.4 (①45.2)	販路の拡張	38.5 (③37.5)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑥ 建設業

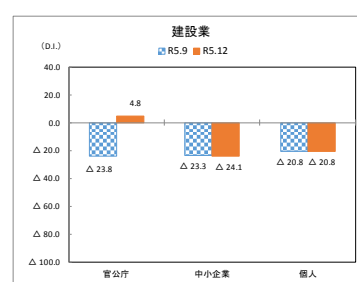
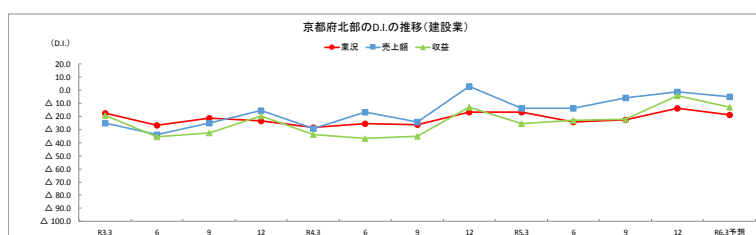
■ 建設業のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 16.7	△ 16.8	△ 24.0	△ 22.6	△ 13.9	8.7	△ 18.8
売上額	2.9	△ 13.7	△ 13.8	△ 5.8	△ 1.0	4.8	△ 4.9
受注残	7.8	△ 17.7	△ 23.7	△ 10.7	2.0	12.7	△ 16.8
施工高	10.8	△ 15.7	△ 25.7	△ 11.7	6.9	18.6	△ 7.9
収益	△ 12.7	△ 25.5	△ 22.8	△ 22.3	△ 4.0	18.3	△ 12.9
請負価格	6.9	△ 4.9	10.9	13.6	19.8	6.2	4.0
材料価格	84.2	79.4	74.3	59.8	62.4	2.6	53.5
在庫	1.0	1.0	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0
資金繰り	△ 15.7	△ 18.6	△ 7.9	△ 18.4	△ 13.9	4.5	△ 14.9
前年同期比売上額	△ 4.9	△ 16.7	△ 12.9	△ 11.7	△ 13.0	△ 1.3	-
前年同期比収益	△ 19.6	△ 33.3	△ 21.8	△ 22.3	△ 15.0	7.3	-
残業時間	4.9	1.0	△ 23.8	△ 14.7	△ 5.0	9.7	5.0
人手	△ 48.0	△ 47.1	△ 40.6	△ 48.5	△ 46.0	2.5	△ 46.0
借入実施割合 (%)	24.8	23.8	27.7	31.4	27.7	△ 3.7	32.7

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成25年12月期の15.3、最低値：平成21年6月期の△56.5

- 建設業の今期の業況判断D.I.は、前期比8.7ポイント上昇の△13.9となりました。
- 請負先別（回答数上位3先）では、「官公庁」が同28.6ポイントの上昇、「中小企業」が同0.8ポイントの低下、「個人」が同横ばいとなりました。
- 売上額判断D.I.は、同4.8ポイント上昇の△1.0となりました。
- 収益判断D.I.は、同18.3ポイント上昇の△4.0となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比4.9ポイント低下の△18.8とやや悪化する見通しです。



■ 建設業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
材料価格の上昇	60.4 (①58.8)	人材の確保	50.5 (①50.0)
人手不足	45.5 (②42.2)	経費の節減	39.6 (②43.1)
売上の停滞・減少	33.7 (③38.2)	販路の拡張	37.6 (③36.3)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

⑦ 不動産業

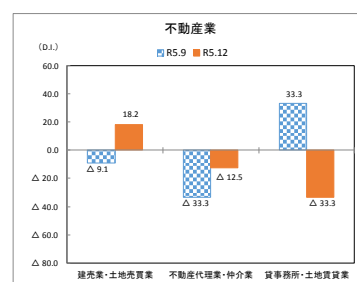
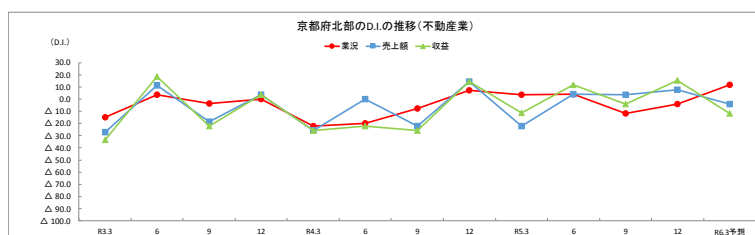
■ 不動産業のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	7.4	3.7	4.0	△ 11.5	△ 4.0	7.5	12.0
売上額	14.8	△ 22.2	4.0	3.8	7.7	3.9	△ 3.8
収益	14.8	△ 11.1	12.0	△ 3.9	15.4	19.3	△ 11.5
販売価格	0.0	3.8	4.3	8.0	△ 12.0	△ 20.0	0.0
仕入価格	19.0	28.0	22.5	8.3	8.4	0.1	8.3
在庫	△ 23.1	△ 28.0	△ 17.4	△ 45.8	△ 20.8	25.0	△ 16.6
資金繰り	14.8	11.5	8.3	0.0	8.0	8.0	12.0
前年同期比売上額	11.1	7.4	△ 16.0	△ 11.5	△ 19.2	△ 7.7	-
前年同期比収益	18.5	11.1	△ 12.0	△ 11.5	△ 23.1	△ 11.6	-
残業時間	△ 7.4	0.0	△ 4.0	△ 11.5	△ 15.4	△ 3.9	△ 3.8
人手	△ 18.5	△ 11.1	△ 16.0	△ 19.2	△ 23.1	△ 3.9	△ 23.1
借入実施割合 (%)	29.6	33.3	28.0	26.9	30.8	3.9	38.5

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成27年6月期の40.7、最低値：平成21年12月期の△59.1

- 不動産業の今期の業況判断D.I.は、前期比7.5ポイント上昇の△4.0となりました。
- 業種分類別（回答数上位3業種）では、「建売業・土地売買業」が同27.3ポイントの上昇、「不動産代理業・仲介業」が同20.8ポイントの上昇、「貸事務所・土地賃貸業」が同66.6ポイントの低下となりました。
- 売上額判断D.I.は、同3.9ポイント上昇の7.7となりました。
- 収益判断D.I.は、同19.3ポイント上昇の15.4となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比16.0ポイント上昇の7.5と改善する見通しです。



■ 不動産業：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
同業者間の競争の激化	44.0 (①53.8)	情報力の強化	68.0 (①73.1)
利幅の縮小	36.0 (②34.6)	宣伝・広告の強化	44.0 (②42.3)
売上の停滞・減少	36.0 (⑤26.9)	販路の拡張	36.0 (③34.6)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

3. 地区別の景況

① 丹後地区

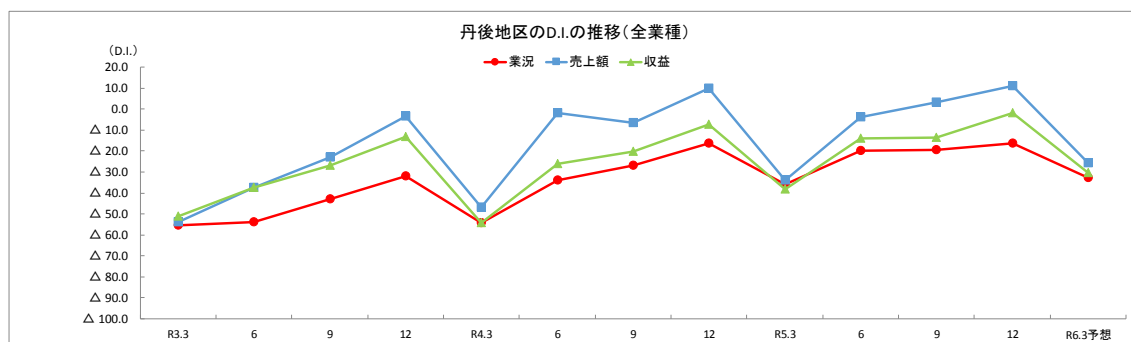
■ 丹後地区のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 16.4	△ 36.0	△ 19.7	△ 19.6	△ 16.1	3.5	△ 32.6
売上額	9.9	△ 34.0	△ 3.6	3.5	11.3	7.8	△ 25.8
収益	△ 7.3	△ 38.3	△ 14.0	△ 13.5	△ 1.6	11.9	△ 30.5
販売・請負価格	42.3	28.4	26.8	28.3	37.0	8.7	15.1
仕入・材料価格	71.0	66.9	58.7	60.0	56.5	△ 3.5	39.3
在庫	3.8	8.3	7.1	0.6	3.3	2.7	2.0
資金繰り	△ 11.4	△ 23.0	△ 14.1	△ 15.7	△ 13.5	2.2	△ 16.1
前年同期比売上額	11.4	5.0	8.0	8.5	3.6	△ 4.9	-
前年同期比収益	△ 12.4	△ 23.8	△ 6.0	△ 9.0	△ 10.4	△ 1.4	-
残業時間	6.4	△ 3.5	△ 9.7	△ 5.6	2.6	8.2	△ 1.6
人手	△ 34.2	△ 33.7	△ 31.0	△ 32.5	△ 36.8	△ 4.3	△ 32.5
借入実施割合 (%)	16.3	12.1	14.8	17.1	22.7	5.6	21.6

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成30年12月期の△2.9、最低値：平成21年3月期の△79.5

- 丹後地区の今期の業況判断D.I.は、前期比3.5ポイント上昇の△16.1となりました。
- 売上額判断D.I.は、同7.8ポイント上昇の11.3となりました。
- 収益判断D.I.は、同11.9ポイント上昇の△1.6となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比16.5ポイント低下の△32.6と悪化する見通しです。



■ 丹後地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	38.9 (①37.7)	経費の節減	44.6 (①47.7)
人手不足	36.3 (③33.2)	人材の確保	40.9 (②37.2)
原材料高	31.6 (②35.7)	販路の拡張	28.5 (③29.6)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

② 舞鶴地区

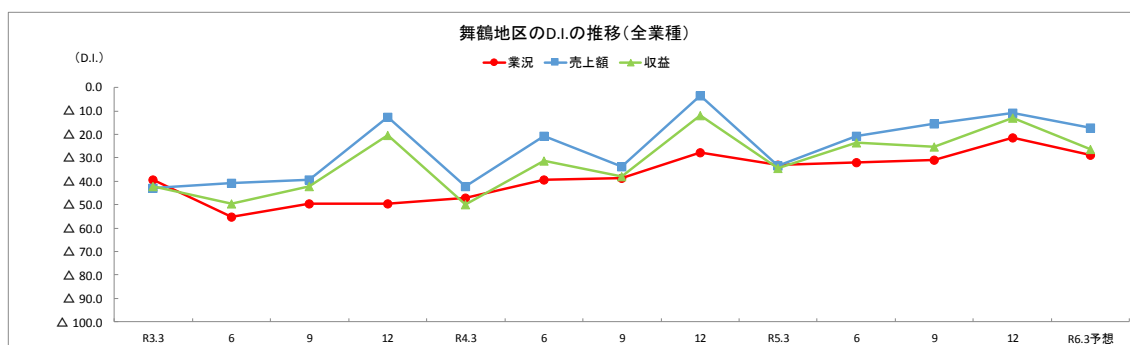
■ 舞鶴地区のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 27.8	△ 33.1	△ 31.9	△ 31.0	△ 21.4	9.6	△ 28.6
売上額	△ 3.4	△ 33.2	△ 20.8	△ 15.5	△ 10.7	4.8	△ 17.1
収益	△ 11.8	△ 34.5	△ 23.6	△ 25.4	△ 12.9	12.5	△ 26.3
販売・請負価格	26.4	20.1	20.4	24.1	20.7	△ 3.4	15.0
仕入・材料価格	69.0	70.7	56.4	57.5	51.1	△ 6.4	39.5
在庫	0.9	5.4	1.8	2.8	0.9	△ 1.9	△ 1.8
資金繰り	△ 23.6	△ 22.1	△ 23.6	△ 26.2	△ 24.8	1.4	△ 25.7
前年同期比売上額	△ 9.8	△ 13.2	△ 11.8	△ 12.0	△ 21.4	△ 9.4	-
前年同期比収益	△ 12.6	△ 29.2	△ 25.7	△ 23.2	△ 21.4	1.8	-
残業時間	2.8	△ 0.7	△ 11.2	△ 6.4	2.9	9.3	△ 0.7
人手	△ 29.4	△ 30.6	△ 29.9	△ 31.2	△ 39.0	△ 7.8	△ 35.5
借入実施割合 (%)	19.6	19.3	20.1	19.1	18.4	△ 0.7	17.1

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：令和元年6月期の△12.5、最低値：令和2年6月期の△67.6

- 舞鶴地区の今期の業況判断D.I.は、前期比9.6ポイント上昇の△21.4となりました。
- 売上額判断D.I.は、同4.8ポイント上昇の△10.7となりました。
- 収益判断D.I.は、同12.5ポイント上昇の△12.9となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比7.2ポイント低下の△28.6と悪化する見通しです。



■ 舞鶴地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	51.4 (①49.3)	経費の節減	48.6 (①51.4)
原材料高	32.9 (③25.4)	人材の確保	36.4 (③27.5)
人手不足	27.9 (②26.1)	販路の拡張	33.6 (②32.4)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

③ 福知山・綾部地区

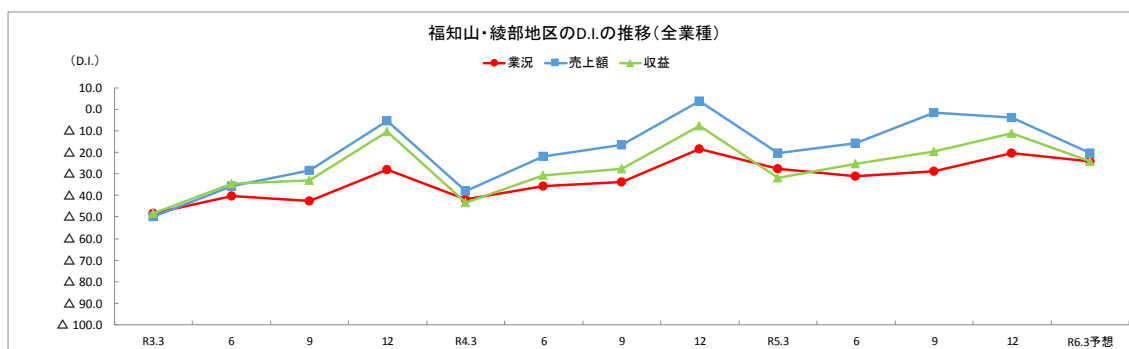
■ 福知山・綾部地区のD.I.の推移

調査時期	R4.12	R5.3	6	9	12	前期比	来期予想
業況※	△ 18.4	△ 27.6	△ 31.1	△ 28.9	△ 20.4	8.5	△ 24.2
売上額	3.8	△ 20.3	△ 15.8	△ 1.5	△ 3.9	△ 2.4	△ 20.2
収益	△ 7.5	△ 31.8	△ 25.3	△ 19.5	△ 11.0	8.5	△ 24.2
販売・請負価格	25.5	18.0	20.0	23.9	26.4	2.5	16.0
仕入・材料価格	74.5	70.3	61.9	59.0	54.3	△ 4.7	44.2
在庫	3.4	3.9	△ 1.7	△ 1.2	1.7	2.9	△ 1.7
資金繰り	△ 14.2	△ 22.5	△ 15.6	△ 17.2	△ 13.9	3.3	△ 18.3
前年同期比売上額	0.5	△ 12.8	△ 10.8	△ 10.4	△ 15.0	△ 4.6	-
前年同期比収益	△ 19.8	△ 29.4	△ 20.2	△ 25.2	△ 27.1	△ 1.9	-
残業時間	3.3	△ 3.3	△ 11.7	△ 8.5	△ 6.7	1.8	△ 5.8
人手	△ 35.8	△ 31.0	△ 26.7	△ 27.2	△ 28.4	△ 1.2	△ 26.4
借入実施割合 (%)	21.3	16.6	18.0	20.9	19.8	△ 1.1	20.2

※ 業況判断D.I.の最高値と最低値は以下の通り（平成15年3月期調査開始以降）

最高値：平成17年9月期の△3.5、最低値：令和2年6月期の△64.1

- 福知山・綾部地区の今期の業況判断D.I.は、前期比8.5ポイント上昇の△20.4となりました。
- 売上額判断D.I.は、同2.4ポイント低下の△3.9となりました。
- 収益判断D.I.は、同8.5ポイント上昇の△11.0となりました。
- 来期の予想業況判断D.I.は、今期実績比3.8ポイント低下の△24.2とやや悪化する見通しです。



■ 福知山・綾部地区：経営上の問題点、当面の重点経営施策（上位3）

経営上の問題点	構成比 (%)	当面の重点経営施策	構成比 (%)
売上の停滞・減少	47.1 (①47.5)	経費の節減	46.1 (①49.5)
人手不足	31.6 (③29.4)	販路の拡張	34.5 (②34.8)
原材料高	30.1 (②31.4)	人材の確保	29.1 (③32.8)

※ いずれの質問も3つ以内の複数回答、カッコ内は前回順位と構成比

4. 特別調査 「2024年（令和6年）の経営見通し」

問1 貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

2024年の我が国の景気の見通し

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 非常に良い	0	0	0	0
2 良い	2	2	3	7
3 やや良い	31	13	26	70
4 普通	51	36	71	158
5 やや悪い	72	56	73	201
6 悪い	31	29	29	89
7 非常に悪い	6	5	4	15
回答者数	193	141	206	540

単位：%

1 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0
2 良い	1.0	1.4	1.5	1.3
3 やや良い	16.1	9.2	12.6	13.0
4 普通	26.4	25.5	34.5	29.3
5 やや悪い	37.3	39.7	35.4	37.2
6 悪い	16.1	20.6	14.1	16.5
7 非常に悪い	3.1	3.5	1.9	2.8
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0

問2 貴社では、2024年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

2024年の自社の業況の見通し

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 非常に良い	1	0	0	1
2 良い	5	1	4	10
3 やや良い	23	13	22	58
4 普通	80	49	77	206
5 やや悪い	64	63	83	210
6 悪い	19	13	14	46
7 非常に悪い	2	1	5	8
回答者数	194	140	205	539

単位：%

1 非常に良い	0.5	0.0	0.0	0.2
2 良い	2.6	0.7	2.0	1.9
3 やや良い	11.9	9.3	10.7	10.8
4 普通	41.2	35.0	37.6	38.2
5 やや悪い	33.0	45.0	40.5	39.0
6 悪い	9.8	9.3	6.8	8.5
7 非常に悪い	1.0	0.7	2.4	1.5
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0

問3 2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

2024年の自社の売上額の伸び率（2023年比）

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 30%以上の増加	0	2	0	2
2 20～29%の増加	3	0	5	8
3 10～19%の増加	18	8	17	43
4 10%未満の増加	42	26	31	99
5 変わらない	69	50	79	198
6 10%未満の減少	40	38	50	128
7 10～19%の減少	11	13	17	41
8 20～29%の減少	6	3	2	11
9 30%以上の減少	5	1	4	10
合計	194	141	205	540

単位：%

1 30%以上の増加	0.0	1.4	0.0	0.4
2 20～29%の増加	1.5	0.0	2.4	1.5
3 10～19%の増加	9.3	5.7	8.3	8.0
4 10%未満の増加	21.6	18.4	15.1	18.3
5 変わらない	35.6	35.5	38.5	36.7
6 10%未満の減少	20.6	27.0	24.4	23.7
7 10～19%の減少	5.7	9.2	8.3	7.6
8 20～29%の減少	3.1	2.1	1.0	2.0
9 30%以上の減少	2.6	0.7	2.0	1.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

問4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

自社の業況が上向き転換点

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
1 すでに上向いている	30	14	22	66
2 6か月以内	20	15	24	59
3 1年後	38	21	31	90
4 2年後	14	12	19	45
5 3年後	15	11	16	42
6 3年超	7	7	12	26
7 業況改善の見通しは立たない	66	60	73	199
回答者数	190	140	197	527

単位：%

1 すでに上向いている	15.8	10.0	11.2	12.5
2 6か月以内	10.5	10.7	12.2	11.2
3 1年後	20.0	15.0	15.7	17.1
4 2年後	7.4	8.6	9.6	8.5
5 3年後	7.9	7.9	8.1	8.0
6 3年超	3.7	5.0	6.1	4.9
7 業況改善の見通しは立たない	34.7	42.9	37.1	37.8
回答者数	100.0	100.0	100.0	100.0

問5 近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024 年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。販売価格については1～5から、仕入価格については6～0から、それぞれもっとも当てはまるものを1つずつ選んでお答えください。

2024年の自社の販売価格と仕入価格見通し

単位：先

	丹後	舞鶴	福知山・綾部	全地区
販売価格	193	141	200	534
1 大幅な上昇（10%以上）	13	6	9	28
2 緩やかな上昇（10%未満）	99	72	104	275
3 変わらない（一進一退など）	68	52	70	190
4 下落	4	4	5	13
5 わからない（自社には関係ないなど）	9	7	12	28
仕入価格	193	140	203	536
6 大幅な上昇（10%以上）	28	24	28	80
7 緩やかな上昇（10%未満）	118	85	124	327
8 変わらない（一進一退など）	41	21	36	98
9 下落	2	2	1	5
0 わからない(自社には関係ないなど)	4	8	14	26

単位：%

	100.0	100.0	100.0	100.0
販売価格	100.0	100.0	100.0	100.0
1 大幅な上昇（10%以上）	6.7	4.3	4.5	5.2
2 緩やかな上昇（10%未満）	51.3	51.1	52.0	51.5
3 変わらない（一進一退など）	35.2	36.9	35.0	35.6
4 下落	2.1	2.8	2.5	2.4
5 わからない（自社には関係ないなど）	4.7	5.0	6.0	5.2
仕入価格	100.0	100.0	100.0	100.0
6 大幅な上昇（10%以上）	14.5	17.1	13.8	14.9
7 緩やかな上昇（10%未満）	61.1	60.7	61.1	61.0
8 変わらない（一進一退など）	21.2	15.0	17.7	18.3
9 下落	1.0	1.4	0.5	0.9
0 わからない(自社には関係ないなど)	2.1	5.7	6.9	4.9

（問い合わせ先） 京都北都信用金庫 経営企画部 経営企画課
 〒626-0041 京都府宮津市宇鶴賀2054-1
 TEL： 0772-22-5121（代表）
 FAX： 0772-22-7941
 URL： <http://www.hokuto-shinkin.co.jp/>

※ 単位未満四捨五入のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

※ ほくとしんきん中小企業景況レポートの内容は著作権法により保護されていますので、引用・転載・複製等を無断で行うことはご遠慮ください。